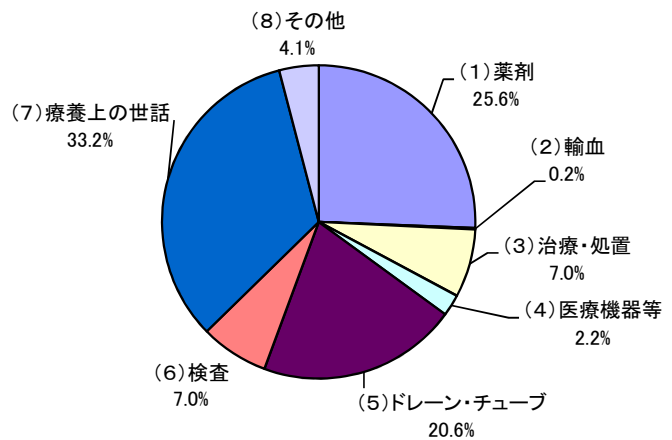


● 2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）
患者さんに影響があった、あるいはその可能性があったインシデント

概要		
項目	件数	%
(1) 薬剤	666	25.6
(うち与薬に関するもの)	(564)	(21.7)
(2) 輸血	4	0.2
(3) 治療・処置	183	7.0
(4) 医療機器等	58	2.2
(5) ドレーン・チューブ	535	20.6
(6) 検査	183	7.0
(7) 療養上の世話	864	33.2
(うち転倒・転落)	(449)	(17.3)
(8) その他	106	4.1
合計	2599	100.0



2019年度は職員から2599件のインシデント報告がありました。

3大インシデントは薬剤に関するもの、転倒・転落、ドレーン・チューブ類に関するものと例年と同様でした。

重要な事例については再発防止のため、関連部署や関連する委員会などと、原因究明や対策について検討しています。

● 静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症）とは？

「深部静脈血栓症」は主に足の深いところの血管（静脈）に血のかたまり（血栓）ができることです。

「肺血栓塞栓症」はこの血栓が肺に送られて、肺の血管で詰まってしまう病気です。長時間の飛行機旅行などによる「エコノミークラス症候群」はこれと同じもので、発症すると死亡率が高い病気のため、予防が大切です。

これらの病気を100%防ぐことは困難ですが、できるだけ起こさないよう私たち医療従事者と患者さんが協力して取り組んでいます。

<足の血管の血液が心臓に戻ってくるためには、ポンプが重要>

◆ **フットポンプ**：なるべく早くベッドから起きて歩く。

◆ **筋ポンプ**：足のつま先を上下させたり、足で円を描くように動かして、足の筋肉を伸び縮みさせる。（イラスト参照）

◆ **呼吸ポンプ**：深呼吸する。

安静期間中もベッドの上で足の運動を行いましょう。



●医療安全川柳：テーマ「お薬」

11月25日の医療安全の日を含む日曜から土曜までの1週間は医療安全推進週間です。2019年度は、「お薬」をテーマに医療安全川柳に取り組みました。

院内35部署から医療安全川柳が投稿され、来院された方々の人気投票(85票)などから優秀作品を選びました。

投票にご協力頂き、ありがとうございました。

